

図画工作科学学習指導案

日時	平成22年6月22日（火）23日（水）
学年組	第2学年1組（29名）
場所	22日…図工室 23日…運動場・わたり廊下

領域 A表現（1）造形遊び

題材名 アワアワ星へレッツゴー！！

指導者 東広島市立高屋東小学校 教諭 寺尾 陽子

1 題材について

- 本題材は、第1学年及び第2学年「A表現」(1)のア「身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。」及び〔共通事項〕ア、イを受けて設定したものである。
この題材は、身近にある水と石鹸・洗剤を使って主材料の泡をつくり、その泡の形や色などを基に副材料を組み合わせたり試行錯誤をしたりしながら、自分が思い付いたものを次々につくる造形遊びである。
水や石鹸・洗剤は、児童の身近に存在しており、手や体、容器等を洗う際に日常的に用いるものである。このような日常生活の中で水や石鹸・洗剤でできた泡は、使い終わればその形は消えてしまう。しかし、泡は、泡立っているときに、思わず指を丸めてシャボンをつくってみたり、握ってみたりしたくなる材料であり、その触感から「いっぱい泡をつくってみたい。」というようにつくりだす喜びを引き出すことができる材料である。このように、泡を材料に試行錯誤をする活動を通して、泡の形や色などを基に思い付いてつくることが期待できる題材である。
- 本学級の児童は、第1学年のときに、砂や水、ビニール袋などを使った造形遊びや絵の具を使ったローラー遊びなど身近な材料を基に造形遊びをした。特に、砂を使った造形遊びでは、水を加えて川や温泉をつくるなど楽しんで活動をしていた。しかし、山をつくる、トンネルを掘る、川をつくるなど思い付きやすい活動はほとんどの児童ができていたが、材料の感じや面白さに気付いて活動を広げたり、試行錯誤をして新しいことを発見したりする児童は約4割程度しかいなかった。

2 研究テーマとの関わり

〈付けたい力〉 材料の形や色などを基に思い付いてつくる力

【題材開発の視点】

①アイデアを広げる材料の選択

- ・本題材には、泡立て方や石鹸の種類によって違うものをつくることのできる泡を主材料として扱う。
(泡を主材料とする利点)
○水と石鹸・洗剤を使って、容易につくることのできる。
○柔らかい触感で、変化しやすく、その形や色などから見立て遊びを引き出し、発想を広げることができる。
○手や体全体の感覚を使って働きかけるため、ダイナミックな活動が期待できる。
- ・副材料として、白い板段ボール・ペットボトル・プラスチックカップ（大・小）・共用の絵の具を準備する。

②自分で目的を見付けて発展させていく過程の構成

- ・シャボン玉づくり、泡を紙に写す技法、泡立ての活動を共通体験させることで、泡の形や色などから感じた面白さに気付くことができるようにする。
- ・副材料と活動の場所をコーナーとして設定し（えのぐコーナー、あわブクブクコーナー、シャボンコーナー等）、児童自らが目的を見付けて活動できるようにする。

- 【シャボン玉液】・家庭用中性洗剤，せんたくのり（PVA），水を1：2：7の割合で混ぜる。
- 【石 鹼 水】・ボディソープを10倍に薄める。
- 【安全への配慮】・シャボン玉液や石鹼水が目に入った場合は，すぐに洗い流せるように，水道が近くにある場所で活動する。
- ・泡を飲んだり，友達に投げたりしない等の諸注意を活動前に行う。
 - ・活動後は，プールのシャワーで全身についた泡を洗い流す。

3 題材の目標

- ・主材料の形や色などを感じ取り，それらに関心をもっている。（造形への関心・意欲・態度）
- ・主材料の形や色などを基に試行錯誤をしながら，自分のつくりたいことを思い付いてつくることができる。（発想や構想の能力）
- ・主材料を基に副材料と組み合わせて，色を付けたり，吹いたり，形を変えたりするなど，手や体全体の感覚を働かせて自分の思い付いたことをつくり出すことができる。（創造的な技能）

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
・水や石鹼・洗剤を使った遊びから泡の形や色などに関心をもち体全体を働かせて，泡の形や色などをとらえ自分のイメージをもとうとしている。	・泡の形や色などを基に，副材料と組み合わせたり，試行錯誤をしたりしながら，自分のつくりたいことを思い付いてつくっている。	・見付けた泡の形や色などから手や体全体の感覚を働かせ，集める，吹く，にぎる，写すなどの思い付いた方法を試して活動している。

5 指導と評価の計画（全3時間）

次	時	学習活動	評価			評価規準	評価方法
			関	発	技		
一	1	・種類の違う石鹼や洗剤を使って泡をつくり，吹く，写す，混ぜる等の造形活動を行う。	○	◎		○泡の手触りを確かめながら体全体を働かせて泡の形や色などを見付けようとしている。 ◎シャボンの泡や石鹼の泡をつくりながら泡の形や色などからイメージし，活動している。	行動観察 児童の発言
二	1 2	・つくった泡の形や色などに働きかけ，思い付いた造形活動を行う。		◎	○	◎泡の形や色，他の材料との組合せからイメージを膨らませ，思い付いたものをつくっている。 ○見付けた泡の形や色などから手や体全体の感覚を働かせ，思い付いた方法を試して活動している。	行動観察 児童の発言 振り返りカード

6 学習の流れ

【第1次 第1時：主材料(泡)の形や色などの特徴をとらえることのできる過程】

○目標

シャボン玉づくり，泡を紙に写す技法，石鹸を泡立てる活動を通して，泡の形や色などをとらえ，自分のイメージを膨らませることができる。

○準備物

教師：ビニールシート，たらい，泡ポンプ，水，絵の具，家庭用中性洗剤，合成せんたくのり（PVA），ボディソープ，プラスチックコップ，ストロー，画用紙，スポンジ

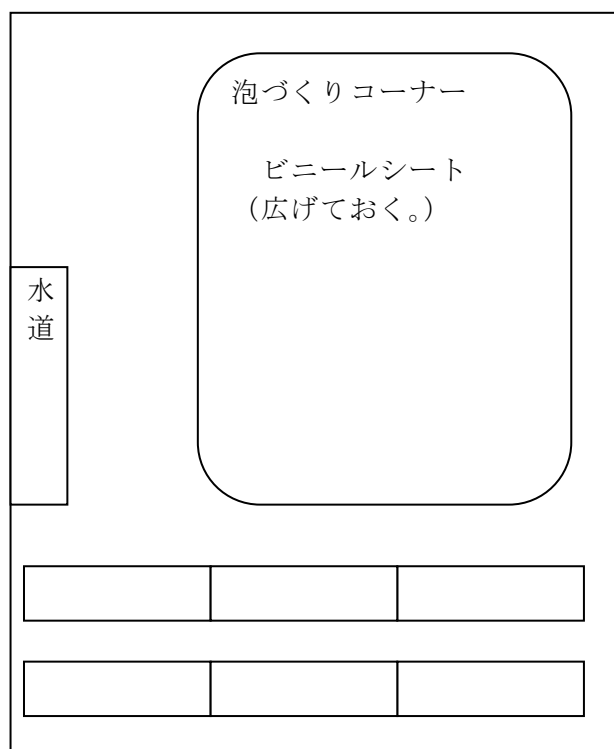
児童：泡立てるために自分たちが集めた道具，洗面器などの容器，汚れてもよい服

○本時の展開◆指導すべき点（しっかり）★思考力（じっくり）■発信力（はっきり）

学習内容及び活動	指導上の留意点	評価規準
1 本時のめあてを確認する。		
アワアワ星へレッツゴー！！ ～アワアワ星人のひみつを見つけて なかよしになろう～		
2 シャボンづくり，泡ぶくぶく，泡づくりなどを試しながら，泡の特性を見付ける。	・アワアワ星人を3つのヒント（形・色・におい）のクイズ形式で登場させ，泡の秘密を見付けてなかよしになることを知らせ活動への意欲をもたせる。 ・シャボン液を一人ずつ渡し，大きなシャボン，小さなシャボンをつくるコツを見付けさせていく。友達が見付けたコツはみんなで試してみるように促す。 ・シャボン液に色を足し，画用紙を使って泡ブクブク（泡を紙に写す）の技法を試すことができるようにする。写った形の面白さに着目させるようにする。 ・もってきた泡をつくる道具で泡づくりをする。いろいろな泡立て方を試す中で，泡の特性を見付けさせていく。 ・十分試す時間を設けることにより，友達と交流し，新たに思い付いたことからつくることができるようにする。 ◆泡やシャボン玉は口にしたり，友達の顔に向けてしたりしてはいけないことを活動前に告げる。 ◆目に入った場合の対処法を知らせておく。	造形への関心・意欲・態度 泡の手触りを確かめながら体全体を働かせて泡の形や色などを見付けようとしている。 （行動観察・発言） 発想や構想の能力 シャボンの泡や石鹸の泡をつくりながら泡の形や色などからイメージし，活動している。 （行動観察・発言）
3 見付けた泡の特性を発表する。	★見付けた泡の形や色などからとらえたことを振り返りカードに書かせる。 ■ペアで見付けた泡の特性を交流し，みんなに発表する。 ・見付けた泡の特性を次時に使えるようにまとめておく。	

4 後片付けをする。	・道具はきれいに洗い、保管させる。 ・使い終わった泡は集めておく。 ・次時は、運動場であることを告げ、準備したいものがあつたらもってきてよいことを告げる。	
------------	---	--

< 第一次 授業会場図（図工室） >



【導入】

- なぞの星から手紙が届きました。その星はあるものでできています。
 そのあるものの正体とは何でしょう。（3つのヒントで考えさせる。）
- ①形…いろいろあるよ。
 - ②色…白や透明のことが多い。
 - ③におい…（児童の代表にブラックボックスの中のもののかいでもらう。）
- めあてを提示し、サブタイトルを出したところでアワアワ星人のヒントカードを読む。
- 1 シャボンをとばそう。
 - 2 あわブクブク パート1
 - 3 あわブクブク パート2

図工室の椅子を並べて
 あわブクブクコーナーにする。
 ストローと画用紙を準備しておく。

○板書計画

アワアワ星へレッツゴー！

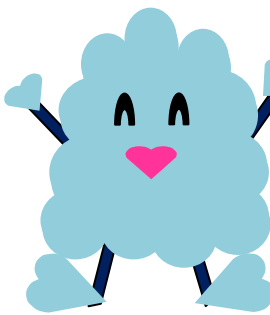
～アワアワ星人のひみつを見つけて なかよしになろう～

3 ヒント

①形 ○？□？△？
 いろいろ？

②色 白？とう明？

③におい
 ○○のにおい



なかよし
のヒント

シャボンをとばそう

あわブクブク
パート1

あわブクブク
パート2

【第2次 第1・2時：副材料を自由に選択して試行錯誤ができる過程】

○目標

主材料である泡の特性を生かし、副材料と組み合わせたり試行錯誤を繰り返したりして、その形や色などを基に、自分の表したいことを思い付いてつくることができる。

○準備物

教師：水、ボディソープ、家庭用中性洗剤、せんたくのり（PVA）、ビニールシート、プラスチックコップ（大・小）、白い板段ボール、ストロー、絵の具、児童机、泡ポンプ、絵の具、泡立てネット、スポンジ、ペットボトル

児童：泡立てるために自分たちが集めた道具、洗面器など入れる容器
汚れてもよい服、水着、ゴーグル

○本時の展開◆指導すべき点（しっかり）★思考力（じっくり）■発信力（はっきり）

学習内容及び活動	指導上の留意点	評価規準
1 本時の学習内容の把握 ○本時のめあてを確認する。		
アワアワ星へレッツゴー！！ ～みんなでアワアワ星人になろう～		
2 表現の工夫 ○アワアワ星人になるために主材料や副材料を工夫して表現する。	★アワアワ星人の形や色などの特徴を想起させる。 ◆準備してある材料について簡単に説明し泡を使うことについて以下の注意をする。 ①友達の前に向けて泡やシャボンを吹いたり、投げたりしない。 ②飲み込まない。 ③目に入ったり、体がかゆくなったりした場合はすぐに言う。 ■お知らせビデオのコーナーは、泡を使って遊んでいく中で、みんなに知らせたいこと（泡ニュース）がある人は、自由にビデオの前で、話してもよいことを伝える。 ・何をしてよいか分からない児童にはアワアワ星人の特性を振り返り、話しながらやりたいことが見付かるようにしていく。 ・活動の途中でアートウォッチング(鑑賞)を設け、泡のひみつを考えさせる。 ★活動したことを振り返り、泡の形や色などを基にどのようなことをしたのか振り返りカードに書かせる。 ■ペアで自分たちがしたことを話し、友達の活動に対して一言感想を話すことで活動を振り返らせる。 ・使い終わった泡は集めておく。 ・道具はきれいに洗い、片付ける。 ・体についた泡は洗い流させる。	発想や構想の能力 泡の形や色、他の材料との組合せからイメージを膨らませ、思い付いたものをつくっている。 (行動観察・発言) 創造的な技能 見付けた泡の形や色などから手や体全体の感覚を働かせ、思い付いた方法を試して活動している。 (行動観察・発言・振り返りカード)
3 本時のまとめ		
4 後片付けをする		

校舎

水道

水道

水道

水道

水道

絵の具コーナー

ブルーシート

プレハブ

シャボン玉

板段ボール

お知らせビデオ

各班1個、洗濯用のたらいといくつかのバケツを準備する。